

小中学校に早期 エアコンの設置を



櫻谷 千重子 議員

【質】 櫻谷議員

真夏日が60日を超えたのは、1980年から99年に4回だったのが、2000年から16年には12回と3倍になっている。
猛暑は、今後も増加傾向にあると思うが、真夏に30℃以上が続く中、子ども達の安全・安心、また、学力向上を図るため、来年夏にはエアコン設置100%を目標に一日も早い取り組みを求める。

庁舎建設に向けて 位置・機能・規模・財源確保は

【答】 久米教育次長

エアコン設置を100%にするには多額の事業費が必要となる。長寿命化計画を策定し、採択されれば補助金も受けられ、また、起債対象にもなり財政的に有利となる。計画策定を急ぎ最速で平成31年度の設置を目指す。

【質】 櫻谷議員

南海トラフ巨大地震、豪雨、台風に向けて一日も早い取り組みが必要であると考え、火の車の牟岐町の財源状況を踏まえ、補助金が望めない中、建設執行しなければならぬ現状である。

町長は、これまでの報道



牟岐小学校、牟岐中学校

や所信で、旧海部病院に移転するしかない」と述べている。5億円以上も掛けて旧海部病院へ移転し、二度の引越しをするのか。その財源は全て借金になる。また、町長が招集した審議会は15年後のことを審議しているのか。町の空洞化を防ぎ過疎を助長しないことも大事、南海トラフ巨大地震に向け死者ゼロを目指すのも大事、どっちも大事。しかし、私は死者ゼロを目指すべきだと思う。

町民の皆さんが生きていくれたら復興に向け新しいまちづくりができる。そのためにも職員を一人たりとも死なせてはならない。新しいまちづくりの大きな戦力となる。
旧海部病院や東・西の浸水区域に職員を置くことには反対する。

【答】 福井町長

まず役場は、旧海部病院に移転し、新しい役場の移転場所が決まり財源確保もできた段階で、安全上問題のない位置に移転すればいいと思う。

分庁については、町民の皆さん、検討委員会で議論していただきたいと思う。

【答】 大森副町長

早い機会に候補地を絞り、議会へ報告したいと考えている。庁舎建設は借金になる。人口が減り続ける中、後年度へ負債を残したくない。厳しい状況の中、コンパクトな庁舎で維持管理の効率性を考慮し、敷地面積については駐車場や他の用途にも利用できるような広く確保するのが望ましいと考えている。方向性が決まれば、町民に対して説明会の開催も考えている。